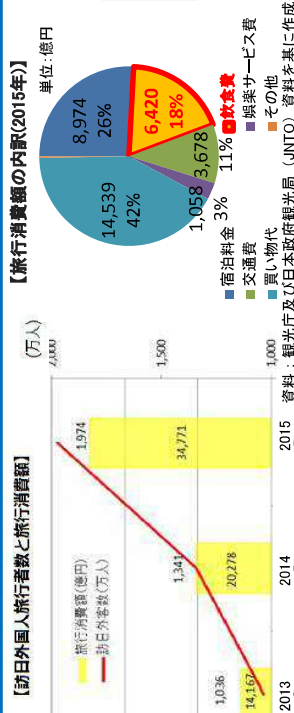


# 食によるインバウンド対応推進事業

【平成29年度予算概算要求額：70（70）百万円】

日本食・食文化への関心の高まりや農林水産物・食品の輸出増大をインバウンド（外国人の訪日）需要の増大につなげ、日本での体験を通じて更に日本の食材の評価を高めたといった好循環を構築するため、①「食と農の景勝地」を核とした地域の食の魅力を発信する取組を支援するとともに、②訪日外国人に日本の食を楽しんでもらうための環境整備を推進します。

## 現状



## めざす姿

「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定）

- ・ 2020年における訪日外国人旅行者数を4000万人、旅行消費額を8兆円とする。
- ・ 2020年の農林水産物・食品の輸出額1兆円目標の前倒し達成を目指す。

## ①来ていただくための基盤づくり

### 地域の食文化資源魅力活用・需要拡大事業

(52百万円)

地域特有の食とそれを支える農林水産業や景観等を活用して訪日外国人をもてなす「食と農の景勝地」に認定された地域等の取組を支援。

#### 発掘

- ・ 地域の食・食文化等の中から世界に通用する魅力を再発見することを支援するために国内外の料理人や有識者等を地域へ派遣

#### 記録

- ・ 地域の食・食文化の魅力やそのストーリーを、国内外の旅行者や次世代へ共有するための映像製作を支援

#### 発信

- ・ 地域の魅力・ストーリーを記録した映像を集約化・ブランド化し、国内外へ発信するためのウェブサイトを構築



## ②食べていただくための体制づくり

### 「食のおもてなし」によるインバウンド対応促進事業

(18百万円)

飲食店等におけるインバウンド対応（多言語対応やムスリム・ベジタリアン等の訪日外国人の多様な食文化への対応）を促進する取組を支援。

#### 飲食店等の対応促進・サポート人材の育成

- ・ 飲食店等におけるインバウンド対応に必要な情報を提供するガイドブックを作成し、商工会等を通じて地域の関係者に広く配布するとともに、
- ・ インバウンド対応に関する研修を実施することで、地域のインバウンド対応をサポートしていく人材育成などの取組を推進し、訪日外国人旅行者の受入体制の裾野を拡大。